

# 「新潟英知のPotluck Party」問題解決法

## ～ 次世代高速通信の導入を踏まえた情報統合による問題解決 ～

キーワード 知のPotluck party, 問題解決, チームビルディング, 地域医療, 災害医療

地域医療教育センター・魚沼基幹病院 脳神経外科 特任教授 米岡 有一郎

### 社会的背景と研究の概要

医療問題は、医療のみならず、地域の行政、財政、観光、災害対策とも直結するので、医療系高等教育機関のみでの解決は困難である。より包括的に、行政、教育、経済、工学、をはじめとする英知の結集が望まれます。県内の28の高等教育機関それぞれの得意分野から少しずつ智慧を出し合う（Potluck party）ことにより、直面する問題を有効に解決してゆくチームの創設を目指します。課題の解決に必要な知識や技術や経験を、Potluck partyで調達することを研究対象とします。

### 研究のアピールポイント

地域医療の現場では、医療機関内部の最適化のみで解決することのできない様々な問題に直面していることを実感します。

医療問題は、医療のみならず、地域の行政、財政、観光、災害対策とも直結するので、医療系高等教育機関のみでの解決は困難です。より包括的に、経済、行政、工学、教育をはじめとして、企画、運営などの英知の結集が望まれます。

英知の結集の具体的な方法論を提案し実践したいと思えます。

新潟県内には、28の高等教育機関が存在します。それぞれの得意分野から少しずつ智慧を出し合うことにより（Potluck party）、直面する問題を有効に解決してゆくチームを創設します。チームビルディング／組織運営／資金調達／会計／IT機器整備／情報管理等、課題の解決に必要な知識や技術や経験を、そのPotluck partyで調達します。

また、新潟県は広く、その距離的隔たりを埋めるために、ICTの活用が必須で、期待される「第5世代移動通信システム（5G）」の実用化を視野に、新潟県各地に分散する英知の統合を目指します。その中で、まずは医療情報から試み、直面する医療問題の解決から、知のPotluck partyの始動を試みます。

### 期待される効果

◇新たな雇用の創出と、医療・介護問題の解決。

◆移住・就学・就業魅力の強化。

◎観光牽引力の向上

●災害対策の強化、国益に沿う新潟県内既存ハード活用

新潟へ行ってみようかな？

### つながりたい分野（産業界、自治体等）

- ・「高等教育コンソーシアムにいがた」に加盟する県内の28の高等教育機関、
- ・新潟県、関連市町村、通信／教育／医療等の事業体や企業
- ・特に高速通信を生かした施策に興味ある団体、個人



新潟県内の英知をつなげることにより、ソフトおよびハード両面の資産を有機的に連結し、既存のリソースから、問題解決のFrameworkを形成し最大限の成果を生み出すことを目指します。

### 【取り組む課題例／事業例】

- ◇年間100人を越えるともいわれる魚沼地域の介護難民の群馬県流出：  
新潟県の雇用機会と費用の県外流出。  
介護施設ニーズの見落とし。
- ◆湯沢・南魚沼市への移住者への医療提供：  
適切な医療提供が、移住者を惹きつける。  
住宅供給のニーズの促進。
- ◎湯沢・南魚沼市への山岳・ウィンタースポーツ・観光の来県者への医療提供：  
適切な医療提供が、リピーターを増やす。  
観光・住・就学・就業魅力の洗練化。
- 湯沢・魚沼地区の空き家・空き部屋のデータベース化：  
南海トラフ巨大地震被災者への住宅供給潜在能力の評価と把握（本県防災能力向上、本邦防災能力向上）。

誰が音頭を取るのか？

← TEAM BUILDINGも初期段階の研究対象